

## ◆今期間のポイント

## &lt;主要じょう乱の概要&gt;

- 15日から17日にかけて、低気圧がオホーツク海からカムチャツカの東へ進む。高気圧が日本付近から日本の東へ移動する。前線が日本の東から小笠原諸島の南にのびる。
- 18日から19日にかけて、高気圧が日本の東から日本のはるか東へ移動する。

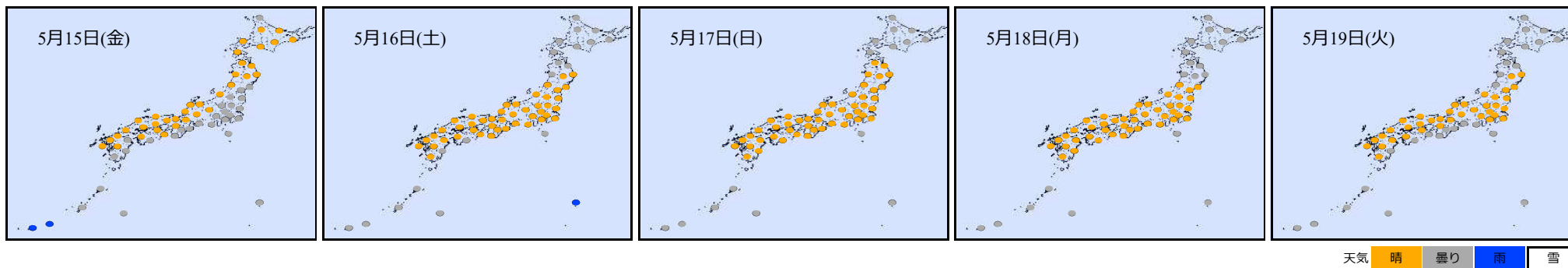
<防災事項> 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- なし。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

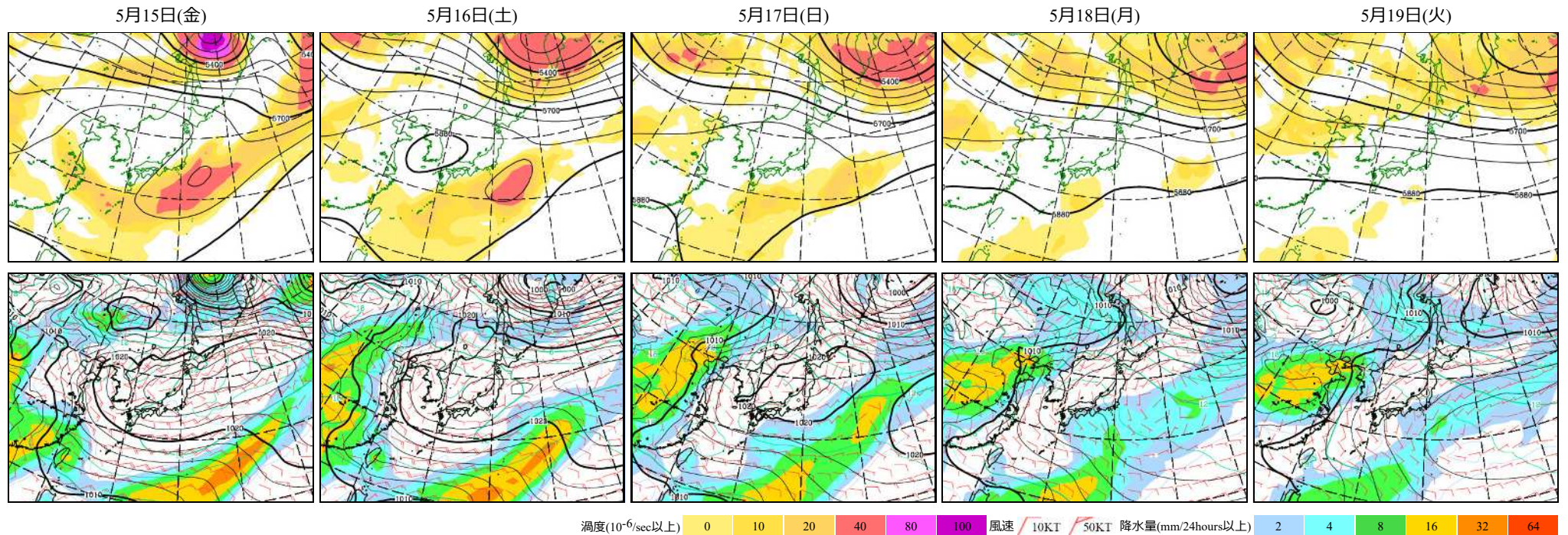
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

## ◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

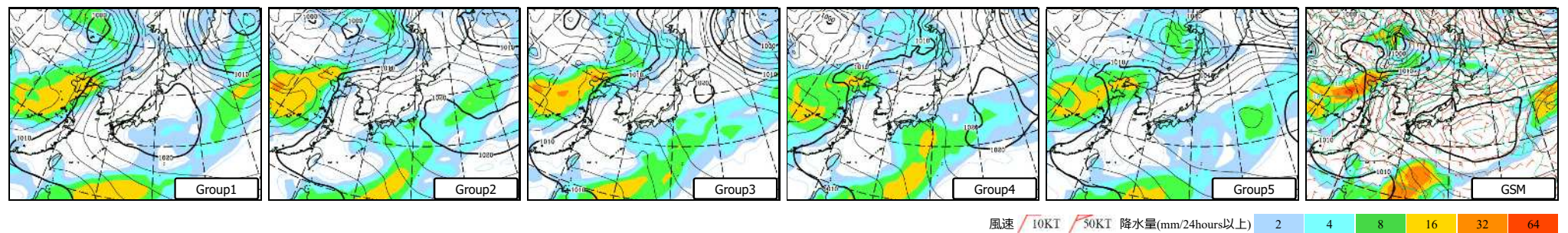


- 北日本は、曇りまたは晴れの日が多い。
- 東日本と西日本は、晴れまたは曇りの日が多い。
- 沖縄・奄美は、雲が広がりやすく、15日は雨の降る所がある。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆5月18日のENSクラスター平均(グループ1~5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料(ENS)は、15日から16日にかけて日本付近の高気圧が強まった。17日から18日にかけて気圧の谷が日本の南を西進する予想に変わった。
- 期間の後半の日本の南の気圧の谷の動きは、モデル間の差が大きい。
- スプレッドは比較的小さいが、期間の後半は特定高度線のばらつきが見られる。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考える。